

## □要請番号 (JL04518A17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	G121 バレーボール		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・2019/1



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名（日本語）

教育・文化・科学・スポーツ省

## 2) 配属機関名（日本語）

オルホン県スポーツ局

## 3) 任地（オルホン県エルデネット）JICA事務所の所在地（ウランバートル）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約6.0時間）

## 4) 配属機関の規模・事業内容

同局は、オルホン県のスポーツ政策の実施や各競技団体の管理をしている。職員30名(内競技コーチ7名)で、年間予算は約1,200万円。同局での管轄競技種目として主に、柔道、レスリング、サンボ、モンゴル相撲、サッカー、バスケットボール、バレーボール等が指導されている。また、同局へのJICAボランティアは1995年から2007年までにバレーボールの青年海外協力隊(JV)4名、バドミントンJV3名、卓球JV1名、エアロビクスJV1名の派遣実績がある。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

地方へのスポーツ系青年海外協力隊(JV)の派遣は、1995年にオルホン県へ派遣されたのが最初である。その後、2007年までに、合計10名のスポーツ系JVが派遣され、選抜チームの技術力向上や競技の普及に貢献した。バレーボール競技に於いても、過去にJV4名が派遣され、選抜チームの技術力が向上し、その後は他県への展開が実施された。そして、2016年にバレーボールJV6名が協働して全国指導者セミナーを開催するまでになり、バレーボールJVの活動が全国的に知れ渡るようになった。JVの派遣が終わった2008年以降、同局では現地コーチが主体で基礎技術の向上に努めてきたが、他県と比べて、次第に技術レベル・競技力が低下する結果となった。そして、2017年にバレーボールJVの活動に理解のある新局長が就任し、再びJVの力を借りて、技術力の向上を図りたいとの依頼があり、今回の要請に至った。

## 2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1. 同僚とともに県選抜チーム(男女)の指導をし、チーム全体での技術レベルの向上を図る。
2. 同僚に対して日本のバレーボール指導経験に基づいた助言を行う。(指導技術、指導力キュラム等)
3. 可能な範囲で選手のコンディショニング、怪我の予防に関しての指導を行う。

※バレーボールの指導は、平日午前と午後に2時間ずつあり、週末は特別練習や試合等が開催される場合がある。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体育館、バレーボール用具一式

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

局長(男性、50代)  
活動対象者

C/P同僚コーチ(女性、30代、指導経験5年)  
コーチ(男性、30代、スポーツ学校教師)  
青年選抜チーム選手(男女各16名、10-16歳)

#### 5) 活動使用言語

モンゴル語

#### 6) 生活使用言語

モンゴル語

#### 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許/資格等]：( )

[学歴]：( ) 備考：

[性別]：( ) 備考：

[経験]：(指導経験) 5年以上 備考：県の選抜チームを指導するため

[参考情報]：

- ・バレーボール指導者資格があるとよい

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30~30°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

### 【特記事項】

### 【類似職種】